

# 医療情報システム保守費用適正化コンサルティング業務仕様書

本仕様書は、地方独立行政法人埼玉県立病院機構（以下「病院機構」という。）の医療情報システムの保守経費の適正化のためのコンサルティング業務委託に関し、必要な仕様を定めるものとする。

## 1 委託業務名

医療情報システム保守費用適正化コンサルティング業務

## 2 目的

本委託業務は、電子カルテシステム等の医療情報システムの保守レベルを維持しつつ、保守費用の適正化を図ることを目的としている。

## 3 対象病院及び基礎情報

対象病院は、以下に示すとおりである。

また、各病院の概要は、別添「埼玉県立病院の概要」のとおりである。

（本業務委託では、精神医療センターは対象としない。）

以下に記載する主な業務系システムは、日本電気株式会社と保守契約を締結しているシステムである。（病院によっては、他の業者と保守契約を締結しているシステムもあるが、それらについては記載していない。）

また、システム名称及び記載単位も病院によって異なる。

今回対象とするシステムは、本書に記載しているシステムに限らず、受託者の可能な範囲で増やしてよいこととする。

なお、病院機構の要望により、本書に記載のないシステムを業務の対象とする場合には、受託者の書面又は電磁的通信手段による承諾を要することとする。

### （１）循環器・呼吸器病センター（熊谷市板井1696）

ア システム構築業者：日本電気株式会社

令和元年11月から、現在の電子カルテシステムを運用。

イ 主な業務系システム

- |                 |                |
|-----------------|----------------|
| ・ 電子カルテシステム     | ・ オーダリングシステム   |
| ・ 看護部門システム      | ・ 医事会計システム     |
| ・ 重症系システム       | ・ 診療業務支援システム   |
| ・ 会計表示システム      | ・ 自動精算機システム    |
| ・ 診療情報管理システム    | ・ 検体検査システム     |
| ・ 職員健康診断システム    | ・ 看護勤務管理システム   |
| ・ 調剤支援システム      | ・ 薬剤管理指導支援システム |
| ・ 病理細胞診業務支援システム | ・ 輸血システム       |
| ・ リハビリ部門システム    |                |

### （２）がんセンター（北足立郡伊奈町小室780）

ア システム構築業者：日本電気株式会社

令和2年2月から、現在の電子カルシステムを運用

イ 主な業務系システム

- ・ 電子カルテシステム
- ・ DPCシステム
- ・ DWHシステム
- ・ 相談支援システム
- ・ 診療情報管理システム
- ・ 調剤支援システム
- ・ 薬剤部門システム (DI)
- ・ 検体検査システム
- ・ 病理検査・レポートシステム
- ・ 心電図画像システム
- ・ 生理検査システム
- ・ 感染管理システム
- ・ インシデント管理システム
- ・ 放射線治療システム (治療RIS)
- ・ 放射線診断レポートシステム
- ・ 画像統合参照システム
- ・ 手術システム
- ・ リハビリテーションシステム
- ・ 栄養アセスメントシステム
- ・ 職員健診システム
- ・ 患者案内表示システム
- ・ 再来受付機
- ・ 手術監視カメラ配信システム
- ・ ME機器管理システム
- ・ 投薬表示システム
- ・ 医事会計システム
- ・ DPC検証支援システム
- ・ 地域医療連携システム
- ・ 文書管理 (診断書) システム
- ・ 院内がん登録支援システム
- ・ 服薬指導システム
- ・ レジメン・ベッド管理システム
- ・ 細菌検査システム
- ・ 心電図ファイリングシステム
- ・ 検査総合受付システム
- ・ 輸血管理システム
- ・ 褥瘡管理システム
- ・ 放射線情報システム (診断RIS)
- ・ 医用画像情報システム (PACS)
- ・ 3D画像解析システム
- ・ 内視鏡画像・レポートシステム
- ・ 重症病棟システム
- ・ 栄養管理システム
- ・ 看護勤務管理システム
- ・ 物品管理システム (医薬品)
- ・ 患者呼出システム
- ・ 手術動画記録配信システム
- ・ バイオバンクシステム
- ・ 自動精算機・窓口精算機
- ・ ベッド払出管理システム

(3) 小児医療センター (さいたま市中央区新都心1番地2)

ア システム構築業者：日本電気株式会社

令和3年1月から、現在の電子カルテシステムを運用

イ 主な業務系システム

- ・ 電子カルテシステム
- ・ 文書画像一元管理システム
- ・ 医事会計システム
- ・ 生理機能検査部門システム
- ・ 遺伝検査システム
- ・ 放射線部門システム
- ・ 栄養管理部門システム
- ・ 物流管理システム
- ・ 在宅支援相談システム
- ・ 診療情報管理部門システム
- ・ 文書作成支援システム
- ・ 重症系システム
- ・ 脳波ネットワークシステム
- ・ 手術映像管理システム
- ・ オーダリングシステム
- ・ 看護勤務管理システム
- ・ 薬剤部門システム
- ・ 病理検査部門システム
- ・ 心電図ネットワークシステム
- ・ 放射線治療部門システム
- ・ 保健発達部門システム
- ・ ME部門システム
- ・ 輸血システム
- ・ 研究支援システム
- ・ 治験管理システム
- ・ 患者呼び出しシステム
- ・ 自動精算機
- ・ 放射線レポートシステム

- ・ グループウェアシステム
- ・ インシデント管理システム
- ・ 臨床情報匿名化管理システム
- ・ 検査・細菌・職員健診部門システム
- ・ 外来患者待ち時間対策サブシステム
- ・ 業務系ネットワークシステム（スマートフォンを含む）

#### 4 プロジェクト実施体制・資格要件

受託者は、プロジェクトリーダーを置き、多角的かつ専門的な知識に基づき本件業務を遂行できる体制を敷くこと。

また、委託契約期間を通して、プロジェクトの実施に当たっては、十分な人員を確保すること。

#### 5 業務実施要件

受託者は、本業務実施に当たり、以下の事項に留意すること。

- (1) 病院機構への助言や提案に当たっては、その根拠となるデータや事例を示すとともに、国や地方公共団体の事例や最新の業界標準・技術動向を踏まえて行うこと。

また、必要に応じて、参考となるサンプル等を提供すること。

- (2) 病院機構からの相談や質問に迅速かつ円滑に対応すること。  
また、複数の作業に同時対応できる社内の支援体制を整備すること。
- (3) 実施計画書等の任意様式については、あらかじめ病院機構と協議を行うこと。
- (4) 独立した第三者として、中立的な立場で業務を行うこと。

#### 6 情報セキュリティ要件

受託者は、本業務の実施に当たり、別添「情報セキュリティ特記仕様書」の内容を遵守すること。

#### 7 作業環境要件

受託者は原則として病院機構から提供された資源に基づき、本業務を実施する。

また、必要に応じて病院機構職員に対するヒアリング等の調査を実施する。

- (1) 現行システム資産の提供

病院機構から提供する現行システムの資産は、別途協議とする。

- (2) ヒアリング等への対応

病院機構は受託者からの申し出に基づき、本業務に関する事項についてヒアリングに応じるものとする。

なお、ヒアリングの実施に当たっては、病院機構の負担を必要最低限にするように配慮すること。

#### 8 業務内容

本業務を実施するに当たり想定している業務内容は、次のとおりである。

受託業者は、想定要件に従い、業務を行うこと。

実施に当たっては、対応する職員の負荷を可能な限り軽減でき、要件精査に効果的な調査手法を選択すること。

- (1) コンサルティングスケジュールの策定
- (2) 医療情報システム保守契約内容の解説
  - ア ハードウェア構成の整理
  - イ ハードウェア保守費用の調査
  - ウ ハードウェア保守業務内容の整理
  - エ ソフトウェア保守費用の調査
  - オ ソフトウェア保守業務内容の整理
  - カ 保守契約先への契約内容の調査
- (3) 保守契約先との面談
- (4) 保守契約内容分析
  - ア システム購入価格
  - イ ハードウェア保守費用の明細化
  - ウ 用途及び使用部門切り分け作業
  - エ 故障データに基づく対象ハードウェア保守費用の適正価格の算出
  - オ システム毎の運用リスクレベル分け作業
  - カ システム購入価格に対する保守費用率の算出
  - キ リスクレベル毎の適正価格の算出
  - ク リスクレベル毎の目標価格の設定
  - ケ ソフトウェア保守費用の明細化
  - コ ソフトウェア保守契約毎の目標価格の設定
  - サ 論理的交渉戦略の考案
- (5) 保守契約分析結果報告
  - ア システム毎の運用リスクレベル
  - イ 保守費用目標価格
  - ウ 論理的交渉戦略
- (6) 保守契約先との価格交渉及び支援
- (7) 成果報告

## 9 成果物

- (1) 成果品の種類
  - ア 対象保守契約一覧表
    - ① ハードウェア型番別機器構成一覧
    - ② ハードウェア型番別保守費用一覧
    - ③ ハードウェア型番別保守業務内容一覧
    - ④ ソフトウェア保守項目別保守費用一覧
  - イ 分析結果報告書
    - ① システム（ハードウェア・ソフトウェア）別保守費用一覧
    - ② システム別リスクレベル判断表
    - ③ 保守契約別費用割合
    - ④ 論理的交渉戦略
  - ウ 成果報告書
    - ① コスト削減効果一覧
      - 個々のシステム及び総額について、見直し前後の額及び削減額を記載すること。

## (2) 形式・数量

成果物は紙媒体及び電子媒体で納入するものとし、以下のとおり行うこと。

媒体種類	納入形態	部数
紙媒体	<ul style="list-style-type: none"><li>・ A 4 版縦（必要に応じて A 3 版横三つ折りも可とする。）にて、任意様式とする。</li><li>・ 表紙、中表紙を除いて両面印刷とする。ただし、A 3 版は片面印刷とする。</li></ul>	2 部
電子媒体	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 電子媒体の形式は、CD-R（DVD-R）とする。</li><li>・ 電子媒体に保存する形式は、PDF又はMicrosoft Office2019で扱える形式とする。</li><li>・ 電子媒体については、ウィルスチェックを行い、安全であることを確認し、その旨報告すること。</li></ul>	2 部

## (3) 納入場所

地方独立行政法人埼玉県立病院機構本部  
(埼玉県さいたま市浦和区高砂三丁目13番3号 埼玉県衛生会館3階)

## 10 委託期間

契約締結日から令和 5 年 4 月 28 日（金）まで

## 11 その他

- (1) 作業の内容について疑義が生じた時は、委託者・受託者の両者はその都度、状況の報告や確認を求めることができるものとする
- (2) 受託者は、委託者の許可なく本委託業務で知り得た情報・資料等を、第三者に提供・開示または漏洩してはならない。
- (3) 委託業務の実施に際しての詳細な事項及び本仕様書に記載のない事項については、委託者・受託者の両社で協議のうえ決定する。